

サイエンスミュージアムネット

データ変換ツール
利用者向けマニュアル

2018年5月
国立科学博物館

改版履歴

版	改版日付	改版内容	備考
1.0	2018/03/13	初版作成	インフォコム株式会社
1.1	2018/03/29	「S-Net 形式のデータ項目について」修正	インフォコム株式会社
1.2	2018/05/11	全体を見直し修正	国立科学博物館

目次

1	はじめに.....	4
1.1	目的.....	4
1.2	全体の流れ.....	4
2	データ変換ツールを利用する.....	5
2.1	データ変換ツールについて.....	5
2.2	変換元データを用意する.....	5
2.3	データ変換ツールをインストールする.....	6
2.4	マッピングする.....	6
2.5	データクリーニング.....	10
2.6	データ検証.....	11
2.7	データ変換における注意事項.....	12
3	トラブルシューティング.....	13
3.1	各種トラブルと対処法.....	13
3.1.1	メッセージレベルが「警告」の場合.....	13
3.1.2	メッセージレベルが「エラー」の場合.....	13
4	その他.....	14
4.1	S-Net 形式のデータ項目について.....	14

1 はじめに

1.1 目的

データ変換ツールは、保有しているデータを S-Net システム対応の項目に変換するためのツールです。
データ変換ツールでは、S-Net システム対応項目への変換に加え、データクリーニング及びデータフォーマットのチェックも同時に行います。

1.2 全体の流れ

データ変換までの流れは以下の通りになります。

1. データ変換ツールをインストールします。
2. 変換元データを用意します。
3. データ変換ツールで、S-Net システム対応の項目へマッピングを行います。
4. データ変換ツールでデータの変換を行います。

2 データ変換ツールを利用する

2.1 データ変換ツールについて

データ変換ツールでは、既に保有しているデータを S-Net 形式のデータに変換することができます。

データ変換ツールで提供する主な機能は以下の通りになります。

機能	説明
データマッピング（データ項目の割り当て）機能	標本データを S-Net 形式のデータに変換します。 ※データ変換前に、データクリーニングとデータ検証を行います。
データクリーニング機能	データクリーニングでは以下の処理を行います。 <ul style="list-style-type: none">・各項目のデータ前後にある半角・全角スペース、タブ、改行コードの削除・半角カナを全角カナに変換・半角英数字指定のフィールドに全角英数字・記号・スペースが存在した場合、対応する半角文字に変換・データ内に挿入されている改行記号・タブ文字を半角スペースに変換・連続するスペースを 1 文字のスペースに変換
データ検証機能	S-Net 形式のデータとなっているかチェックを行います。

2.2 データ変換ツールをインストールする

データ変換ツール「データ変換ツール.xlsm」を S-Net システムからダウンロードします。

ローカル PC の適当なフォルダへ配置します。

2.3 変換元データを用意する

変換元のデータを以下のフォーマットで用意する必要があります。

フォーマット情報	フォーマットの説明
ファイル形式（拡張子）	EXCELブック（.xlsx）、カンマ区切り（.csv）
文字コード	UTF-8、Shift-JIS
先頭行	項目名
2行目以降	データ行（1行1標本）

※1 ファイル1データセットとなります。

※変換元のデータの項目名は任意ですが、S-Netシステム登録用の項目名と同じ名前にするとデータ変換ツールで自動的に初期マッピング（データ項目の割り当て）が行われます。

※S-Netシステム登録用のデータフォーマットについては「4.1S-Net形式のデータ項目について」を参照してください。

2.4 マッピング（データ項目の割り当て）する

マッピングとは、元のファイルのどの項目が提出用ファイルのどのデータ項目に当たるのかを割り当てる作業です。この対応情報はデータ変換ツールのxlsmファイル上に記録されます。インストールした「データ変換ツール.xlsm」をコピーして名前を変更し、変換元データごとに決めた専用のデータ変換ツールファイルを用意してください（たとえば、「データ変換ツール_植物コレクション用.xlsm」など）。変換元データ用のデータ変換ツールダブルクリックすることで、変換ツールが起動します。

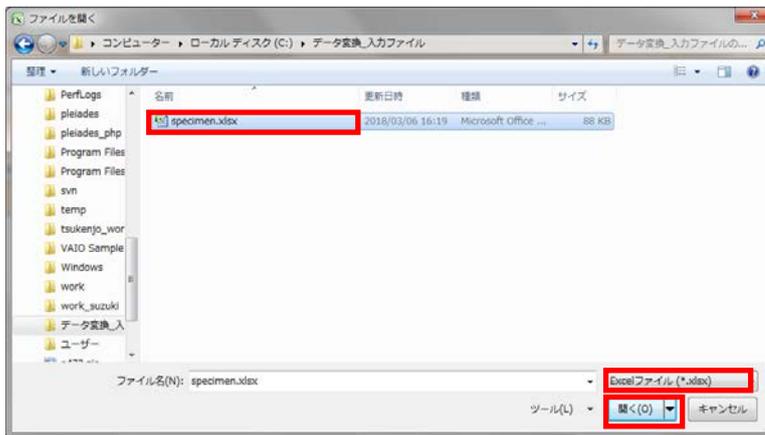
- ① 標本データ変換画面：「参照」ボタンをクリックします。

標本データ変換

入力ファイル名 参照

文字コード

- ② ファイルダイアログ：ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。



- ③ 選択したファイル名が反映される。文字コードを選択して、「マッピング」ボタンをクリックします。
 ※Excel ファイル（.xlsx）を選択した場合は、文字コードの選択は不要です。

標本データ変換

入力ファイル名: C:\データ変換_入力ファイル\specimen.xlsx 参照

文字コード: ▼

マッピング
データクリーニング
データ検証

④ 項目マッピング画面：初期表示

S-Net 項目名と入力ファイル項目名が一致した場合は、「入力ファイル項目名」へ項目名が自動的に設定されます。

一致しない場合は、手動でマッピングします。

※手動マッピングの方法：「入力ファイル項目名」のプルダウンメニューから S-Net 項目名に該当する項目名を選択します。

項目マッピング

実行 マッピング処理を実行し、S-Net形式のファイルを作成します。

設定保存 現在のマッピング情報を保存します。

設定読み込み 保存したマッピング情報を読み込みます。

表示 非表示となっている項目を全て表示します。

非表示 表示項目に○が付いていない項目を非表示にします。

状態: 表示

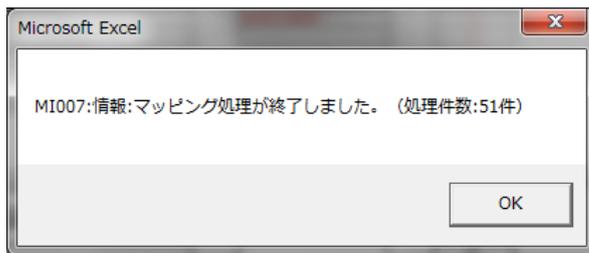
赤字のマッピング必須項目

分類	S-Net項目名	データ型	項目説明	入力ファイル項目名	値の直接入力	表示項目
システム管理情報	管理ID	整数		管理ID		<input type="checkbox"/>
システム管理情報	データセット管理番号	整数		データセット管理番号		<input type="checkbox"/>
システム管理情報	登録日時	日時		登録日時		<input type="checkbox"/>
システム管理情報	更新日時	日時		更新日時		<input type="checkbox"/>
システム管理情報	グローバルユニーク番号	文字列(半角英数字)		グローバルユニーク番号		<input type="checkbox"/>
基本情報	データ登録日時	日時		データ登録日時		<input type="checkbox"/>
基本情報	GBIF公開フラグ	真理(真偽)型		GBIF公開フラグ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
基本情報	レポート種別	文字列(半角英数字)		直接入力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
基本情報	機関名	文字列(日本語可)		機関名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
基本情報	機関名(日本語)	文字列(日本語可)		機関名(日本語)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
基本情報	機関コード	文字列(半角英数字)		機関コード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
基本情報	コレクションコード	文字列(半角英数字)		コレクションコード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
基本情報	カタログ番号	文字列(半角英数字)		カタログ番号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	採集者番号	文字列(半角英数字)		採集者番号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	オカレンス備考	文字列(半角英数字)		オカレンス備考	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	オカレンス備考(日本語)	文字列(日本語可)		オカレンス備考(日本語)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	性別	文字列(半角英数字)		性別	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	性別(日本語)	文字列(日本語可)		性別(日本語)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	生活型・世代型	文字列(半角英数字)		生活型・世代型	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	生活型・世代型(日本語)	文字列(日本語可)		生活型・世代型(日本語)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	成熟状況	文字列(半角英数字)		成熟状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オカレンス情報	成熟状況(日本語)	文字列(日本語可)		成熟状況(日本語)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

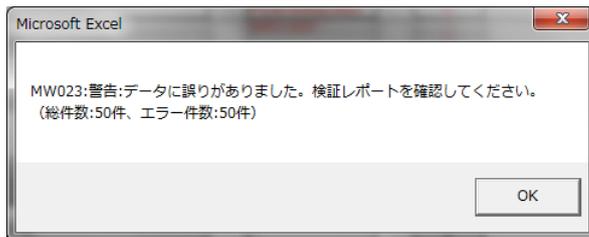
項目マッピング画面：各ボタンの説明

No	機能	内容
1	「実行」ボタン	現在のマッピング情報を基に S-Net 形式ファイルを作成します。 ※実行後「データクリーニング」と「データ検証」が自動的に行われます。データのフォーマット等に問題があった場合は検証レポートが出力されます。
2	「設定保存」ボタン	現在のマッピング情報を保存します。 ※次回以降変換ツールを利用される場合、変換ツールのファイルを保存することによって、設定したマッピング情報を再度利用することが可能です。
3	「設定読み込み」ボタン	保存したマッピング情報を読み込みます。
4	「表示」ボタン	非表示となっている項目を全て表示します。
5	「非表示」ボタン	表示項目に○が付いていない項目を非表示にします。

- ⑤ 「実行」ボタンクリック後（エラーデータなしの場合）完了メッセージが出力されます。
完了メッセージが出力後、S-Net 形式に変換されたデータが出力されます。

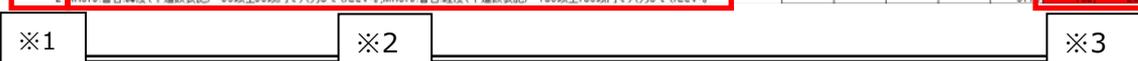


- ⑥ 「実行」ボタンクリック後（エラーデータありの場合）メッセージが出力されます。
エラーメッセージの出力後、検証レポートが出力されます。



例)：検証レポート出力例

エラー件数	エラー内容	管理ID	データセット管理番号	登録日時	更新日時	メッセージコード	緯度(十進数表記)	経度(十進数表記)	測地系	緯度経度誤差単位	緯度経度特定に関する備考
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	191	281	GadeticD	101	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	192	282	GadeticD	102	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	193	283	GadeticD	103	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	194	284	GadeticD	104	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	195	285	GadeticD	105	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	196	286	GadeticD	106	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	197	287	GadeticD	107	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	198	288	GadeticD	108	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	199	289	GadeticD	109	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	190	290	GadeticD	110	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	191	291	GadeticD	111	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	192	292	GadeticD	112	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	193	293	GadeticD	113	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	194	294	GadeticD	114	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	195	295	GadeticD	115	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	196	296	GadeticD	116	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	197	297	GadeticD	117	Georeferen
2	MW019:警告:緯度(十進数表記) -90以上90以内で入力してください。、MW019:警告:経度(十進数表記) -180以上180以内で入力してください。、					910	198	298	GadeticD	118	Georeferen



No	内容
1	レコード別にエラー件数が出力されます。
2	レコード別にエラーの内容が出力されます。
3	エラーデータのセルが赤色の背景色で表示されます。

- ⑦ 検証したレポートをもとにして、データをチェックしてください。

なお、変換ツールでチェックできるのは、データ形式の間違い（半角数字の項目に全角文字が使用されている、など）などのエラーに限られます。文字データの項目において、綴りが間違っている、などのエラーは検出できませんので、これらの項目のエラーについては、自己責任で管理をお願いします。

2.5 データクリーニング

データクリーニングでは、データのクリーニングを個別に行うことができます。

- ① 標本データ変換：「データクリーニング」ボタンをクリックします。

標本データ変換



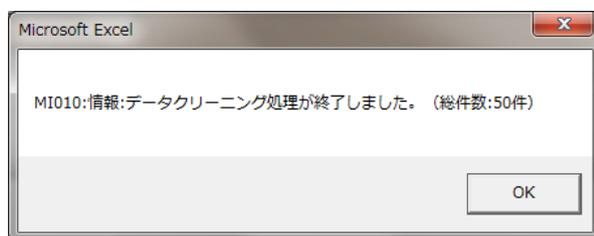
入力ファイル名 C:\データ変換_入力ファイル\specimen.xlsx 参照

文字コード

マッピング データクリーニング データ検証

- ② ファイル出力（データクリーニング済）

完了メッセージが出力され、クリーニング済みのファイルが出力されます。



2.6 データ検証

データ検証では、変換元データを個別に S-Net システムの形式のフォーマットとなっているかデータ検証を行うことができます。

- ① 標本データ変換画面：「データ検証」ボタンをクリックします。

標本データ変換



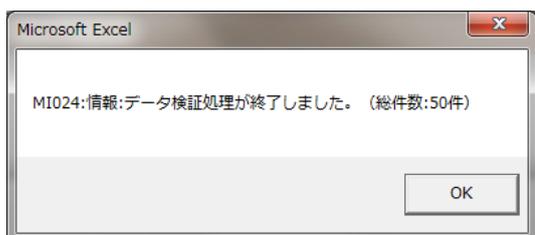
入力ファイル名 C:\データ変換_入力ファイル\specimen.xlsx 参照

文字コード

マッピング データクリーニング データ検証

- ② ファイル出力（データ検証済）

完了メッセージが出力され、検証レポートが出力されます。



2.7 データ変換における注意事項

- Microsoft Excel 2010, 2013, 2016 をご利用ください。
- マッピング機能では、エラーデータありの場合には検証レポートは出力されますが、エラーデータがない場合は、検証レポートは出力されません。
- データ検証機能のみのご利用では、エラーデータの有無に関わらず検証レポートは出力されます。
- Excel 2016 は本来の変換ツールの保証範囲外ですが、事務局においては正常に作動しました。

3 トラブルシューティング

3.1 各種トラブルと対処法

本ツール使用時にエラーメッセージが出力された場合は、以下の対処をしてください。

3.1.1 メッセージレベルが「警告」の場合

例) 標本データ変換画面で、CSV ファイルを選択し、文字コードを選択せずに「マッピング」ボタンをクリックすると、警告メッセージ「MW004:警告:文字コードを選択してください。」が出力されます。この場合、文字コードを選択して、「マッピング」ボタンをクリックしてください。

メッセージレベルが「警告」であれば、メッセージ内容に従い、再実行すれば処理は継続されます。

3.1.2 メッセージレベルが「エラー」の場合

エラーメッセージ「システム管理者に連絡してください。」が出力されましたら、下記の連絡先まで、ご連絡ください。

【本ツールについての連絡先】

独立行政法人国立科学博物館 S-Net/GBIF 担当

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

E-mail : s-net_info [at] kahaku.go.jp ([at] を@に変えてください)

4 その他

4.1 S-Net 形式のデータ項目について

S-Net システムで変換後のデータ項目は以下の通りとなります。

No	項目名	必須	値
システム管理情報			
1.	管理 ID		システム管理用項目
2.	登録日時		システム管理用項目
3.	更新日時		システム管理用項目
4.	データセット管理番号		システム管理用項目
5.	グローバルユニーク番号		システム管理用項目
基本情報			
6.	データ登録日時		
7.	GBIF 公開フラグ	○	0 : GBIF で公開しない、1 : GBIF で公開する（既定値）
8.	レコード種別	○	PreservedSpecimen、FossilSpecimen、LivingSpecimen、HumanObservation、MachineObservation、MaterialSample、Occurrence のいずれか
9.	機関名	○	機関名の英文名称
10.	機関名（日本語）	○	機関名の和文名称
11.	機関コード	○	標本の機関コード（例：TNS、NMST、KPM）
12.	コレクションコード	○	標本のコレクションコード（例：VS、F、AL）。コレクションコードが未設定の機関では、機関コードを入れる。
13.	カタログ番号	○	標本番号
オカレンス情報			
14.	採集者番号		採集者によるオリジナルの標本番号
15.	オカレンス備考		標本等に関する補足説明（例：found dead on the road）
16.	オカレンス備考（日本語）		標本等に関する補足説明（例：路上轢死体）
17.	性別		例：male, female
18.	性別（日本語）		例：オス、メス
19.	生活型・世代型		個体のライフステージ（例：juvenile, adult, sporophyte）
20.	生活型・世代型（日本語）		例：幼虫、成虫、孢子体
21.	成熟状況		例：pregnant, in bloom, fruit-bearing
22.	成熟状況（日本語）		例：妊娠中、開花中、結実中

23.	行動		採集時の個体の振る舞い（例：roosting, foraging, running）
24.	行動（日本語）		例：ねぐらに滞在, 摂食中, 走っていた
25.	生息環境		例：oak savanna, pre-cordilleran steppe
26.	生息環境（日本語）		例：ブナ林、海岸林
27.	個体群成立過程		例：native, introduced, invasive, naturalised, managed
28.	個体群成立過程（日本語）		例：土着、外来、侵略的外来、帰化、栽培、植栽
29.	処理・保存情報		例：fossil, cast, skin, spirit collection
30.	処理・保存情報（日本語）		例：化石、皮革、骨格、液浸
31.	カタログ旧番号・別番号		標本番号をつけ直す場合、以前の標本番号
32.	画像への外部リンク		ウェブ公開されている当該標本の画像自体へのリンク（URL）直リンク可能な場合のみ入力
33.	参照リンク		ウェブ公開されている当該標本情報の英語ページへのリンク（URL）
34.	参照リンク（日本語）		ウェブ公開されている当該標本情報の日本語ページへのリンク（URL）
35.	文献		当該標本に関する文献などの外国語資料（当該種に関するものではない）
36.	文献（日本語）		当該標本に関する文献などの日本語資料（当該種に関するものではない）
37.	塩基配列		DNA シークエンスの DDBJ 等へのアクセッション番号
38.	関連分類群（宿主情報等）		寄主や共生パートナーなどに関する情報（例：Fagus crenata）
39.	関連分類群（宿主情報等）（日本語）		寄主や共生パートナーなどに関する情報（例：ブナ）
40.	過去の同定結果		過去の同定による学名
41.	過去の同定結果（日本語）		過去の同定による和名
42.	サンプリング方法		例：UV light trap, mist net
43.	サンプリング方法（日本語）		例：UV ライトトラップ、マレーズトラップ
44.	記録年月日（始め） ※変換元データの年月日が複数の項目に分かれている場合は、複数の項目を結合してマッピングすることもできます。		採集年月日（始め）を YYYYMMDD 形式の 8 桁で指定（例：20140501）。不明な箇所は**で埋めて 8 桁に（例：196708**）。ただし、年が不明の場合は月日も"*"に（例：*****）、月が不明の場合は日も"*"に（例：1924****）。
45.	記録年月日（終わり）※変換元データの年月日が複数の項目に分かれている場合は、複数の項目を結合してマッピングすることもできます。		採集年月日（終わり）を YYYYMMDD 形式の 8 桁で指定（例：20140531）。不明な箇所は**で埋めて 8 桁に（例：196708**）。ただし、年が不明の場合は月日も"*"に（例：*****）、月が不明の場合は日も"*"に（例：1924****）。
46.	記録年月日オリジナル表記		記録年月日をラベルに書いてある通りに書き下したものの（例：明治 26 年 1 月 23 日、1926 年 12 月、Feb 30, 1906）

47.	記録年月日に関する備考		年月日に関するコメント・特定方法等（例：after the recent rains the river is nearly at flood stage）
48.	記録年月日に関する備考（日本語）		年月日に関するコメント・特定方法等（例：宅地造成に先立って調査した）
位置情報			
49.	大陸		例：Africa, Antarctica, Asia, Oceania
50.	大陸（日本語）		例：アフリカ、南極、アジア、オセアニア
51.	水域		例：Indian Ocean, Baltic Sea, Hudson River
52.	水域（日本語）		例：インド洋、バルト海、ハドソン川
53.	島群		例：Alexander Archipelago
54.	島群（日本語）		例：アレキサンダー諸島
55.	島		例：Isla Victoria
56.	島（日本語）		例：ビクトリア島
57.	国		例：Japan
58.	国（日本語）		例：日本
59.	国地域コード		国名の ID。日本は JP。ISO 3166-1-alpha-2 country codes (http://www.iso.org/iso/country_codes) に従うことが推奨される（入力しなくてもいい）
60.	都道府県		例：Tokyo, Ibaraki, Kyoto
61.	都道府県（日本語）		例：東京都、茨城県、京都府
62.	郡・市区町村		例：Saimtama
63.	郡・市区町村（日本語）		例：さいたま市
64.	詳細地名		
65.	詳細地名（日本語）		例：南区辻一丁目
66.	地名オリジナル表記		地名のラベル表記をそのまま書き下したもの（例：浦和市辻町一丁目（合併前の旧住所）、武蔵国）
67.	最低海拔		メートル単位の数値（例：200, 2.25）
68.	最高海拔		メートル単位の数値（例：400, 10.2）
69.	最浅水深		メートル単位の数値（例：10, 1.5）
70.	最深水深		メートル単位の数値（例：20, 4.22）
71.	メッシュコード		二次あるいは三次メッシュコード（ハイフンを除いて表記）（例：544020, 54402078）
72.	緯度（十進数表記）		正の値は北半球（北緯）、負の値は南半球（南緯）。-90 以上 90 以下。度+分/60+秒/3600 で求められる。
73.	経度（十進数表記）		正の値は東半球（東経）、負の値は西半球（西経）。-180 以上、180 以下。度+分/60+秒/3600 で求められる。
74.	測地系		例：WGS84, EPSG4326

75.	緯度経度誤差半径		緯度経度の誤差。誤差を中心からの円の大きさを表した時の半径 (m)。
76.	緯度経度特定に関する備考		標本採集地、観測地やその測定方法に関する補足説明 (例: assumed distance by road (Hwy. 101))
77.	緯度経度特定に関する備考 (日本語)		標本採集地、観測地やその測定方法に関する補足説明 (例: 国道の位置から推定; オンライン地図を利用して推定)
78.	地名公開レベル	○	0: 住所情報は全て公開 (既定値)、1: 市区町村情報まで公開、2: 都道府県情報まで公開、3: 住所情報は全て非公開
79.	非公開情報に関する備考		公開制限している情報に関する追記 (例: location information not given for endangered species)
80.	非公開情報に関する備考 (日本語)		公開制限している情報に関する追記 (例: 絶滅危惧種につき地名非表示)
81.	位置情報に関する備考		例: Under water since 2005
82.	位置情報に関する備考 (日本語)		例: 2005 に水没
分類情報			
83.	タイプ標本種別		例: Holotype, Lectotype, Isotype, Paratype
84.	タクソン ID		
85.	学名	○	該当標本の学名のフルスペル。属も不明の場合は、同定できた一番下の階級 (目名、科名など) を書く (例: <i>Aspergillus oryzae</i> , <i>Fagus</i> sp., <i>Cornaceae</i> , <i>Coleoptera</i>)
86.	カテゴリー		当面使用しない。
87.	界名 (学名)	○	Viruses, Bacteria, Archaea, Protozoa, Chromista, Plantae, Fungi, Animalia のいずれか。
88.	界名 (日本語名)	○	ウイルス界、真正細菌界、古細菌界、原生生物界、クロミスタ界、植物界、菌界、動物界のいずれか。
89.	門名 (学名)		
90.	門名 (日本語名)		
91.	綱名 (学名)		
92.	綱名 (日本語名)		
93.	目名 (学名)		
94.	目名 (日本語名)		
95.	科名 (学名)		
96.	科名 (日本語名)		
97.	属名 (学名)		
98.	属名 (日本語名)		
99.	亜属名 (学名)		
100.	亜属名 (日本語名)		

101.	種小名		
102.	亜種以下のタクソン		亜種、変種、品種などの学名。ランク自体 (subspecies, variety 等) は「分類群ランク」に書く。複数ある場合には最も下位のランクを書く。
103.	分類群ランク		学名 ScientificName に入力された分類群名の分類ランク (例: family, species, variety)
104.	学名の著者		学名の著者
105.	和名		標準和名をひとつだけ示す (例: ベニテングタケ、ナナホシキンカメムシ、イヌブナ)
106.	同定に関する補足情報		未同定の場合、近縁種等の情報を書く (例: cf. affinis)
107.	同定に関する補足情報 (日本語)		未同定の場合、近縁種等の情報を書く (例: チャハマキに近縁な別種)
108.	分類群に関する備考		生物分類名に関する補足情報 (例: this name is a misspelling in common use)
109.	分類群に関する備考 (日本語)		生物分類名に関する補足情報 (例: 広く使われている誤った綴りの学名)
参考情報			
110.	備考 1 (公開,日本語)		上記に適切な項目のない補足的情報
非公開情報			
111.	備考 2 (非公開,日本語)		公開しないが、データ変換後、データ保守・管理上、項目として残しておきたいものを記載。例: ローカル ID、受入 ID、参照番号など
112.	備考 3 (非公開,日本語)		同上
113.	採集・記録者(非公開) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
114.	採集・記録者 (非公開,日本語) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
115.	水域(非公開) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
116.	水域 (非公開,日本語) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
117.	島群 (非公開) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
118.	島群 (非公開,日本語) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
119.	島 (非公開) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
120.	島 (非公開,日本語) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
121.	郡・市区町村 (非公開) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要

122.	郡・市区町村（非公開,日本語） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
123.	詳細地名(非公開) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
124.	詳細地名(非公開)（日本語） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
125.	地名オリジナル表記(非公開) ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
126.	最低海拔（非公開） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
127.	最高海拔（非公開） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
128.	最浅水深（非公開） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
129.	最深水深（非公開） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
130.	メッシュコード（非公開） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
131.	緯度（十進数表記）（非公開） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
132.	経度（十進数表記）（非公開） ※変換ツールでは表示されません。		データ提供者は入力不要
古生物情報			
133.	上限の推定年代（累代・累界レベル）		例：Phanerozoic, Proterozoic
134.	上限の推定年代（累代・累界レベル） （日本語）		例：顕生代、原生代
135.	下限の推定年代（累代・累界レベル）		例：Phanerozoic, Proterozoic
136.	下限の推定年代（累代・累界レベル） （日本語）		例：顕生代、原生代
137.	上限の推定年代（代・界レベル）		例：Cenozoic, Mesozoic
138.	上限の推定年代（代・界レベル）（日 本語）		例：新生代、中生代
139.	下限の推定年代（代・界レベル）		例：Cenozoic, Mesozoic
140.	下限の推定年代（代・界レベル）（日 本語）		例：新生代、中生代
141.	上限の推定年代（紀・系レベル）		例：Neogene, Tertiary, Quaternary
142.	上限の推定年代（紀・系レベル）（日 本語）		例：新第三紀、第三紀、第四紀
143.	下限の推定年代（紀・系レベル）		例：Neogene, Tertiary, Quaternary
144.	下限の推定年代（紀・系レベル）（日 本語）		例：新第三紀、第三紀、第四紀
145.	上限の推定年代（世・統レベル）		例：Holocene, Pleistocene, Ibexian Series

146.	上限の推定年代（世・統レベル）（日本語）		例：完新世、更新世
147.	下限の推定年代（世・統レベル）		例：Holocene, Pleistocene, Ibexian Series
148.	下限の推定年代（世・統レベル）（日本語）		例：完新世、更新世
149.	上限の推定年代（階・期レベル）		例：Atlantic, Boreal, Skullrockian
150.	上限の推定年代（階・期レベル）（日本語）		
151.	下限の推定年代（階・期レベル）		例：Atlantic, Boreal, Skullrockian
152.	下限の推定年代（階・期レベル）（日本語）		
153.	生層序帯（最下位）		
154.	生層序帯（最下位）（日本語）		
155.	生層序帯（最上位）		
156.	生層序帯（最上位）（日本語）		
157.	岩相層序名		
158.	岩相層序名（日本語）		
159.	層群		
160.	層群（日本語）		
161.	層		例：Notch Peak Formation, House Limestone, Fillmore Formation
162.	層（日本語）		
163.	部層		例：Lava Dam Member, Hellnmaria Member
164.	部層（日本語）		
165.	単層		
166.	単層（日本語）		
命名情報			
167.	オリジナルの学名		標本の学名に変更があった場合の元の学名
168.	原記載		原記載の文献情報（例：Pearson O. P., and M. I. Christie. 1985. <i>Historia Natural</i> , 5(37): 388)
169.	原記載出版年		例：1931、2018
170.	オリジナルの分類群ランク		原記載における学名の分類ランク（例：species, variety）
171.	命名規約		学名に基づいている命名規約（例：ICN、ICZN）
172.	分類学的ステータス		学名の分類学的解釈における扱い（例：accepted, heterotypicSynonym, misapplied）
173.	命名規約上のステータス		学名の命名規約上の扱い（例：ambigua, illegitimum）